

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社あらた（証券コード:2733）

### 【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	BBB+	→	A-

### ■格付事由

- 日用雑貨品卸売業大手。全国規模の営業、物流、情報ネットワークを有する業界第2位の全国卸で、3位以下の地域卸を大きく引き離す。多数の国内外のメーカーとの取引を有し、化粧品、洗剤、紙製品、家庭用品、ペットフードなど幅広い品目を取り扱う。ドラッグストア（DgS）、ホームセンターといった小売業者を顧客とし、DgS向けが連結売上高の約5割を占める。長期経営ビジョンでは「夢をかなえる。暮らしを変える。」を基本方針とし、卸事業を軸に事業領域の拡大を図ることで、30/3期までに売上高1兆円を目指している。
- 収益力は従前に比べて一段高い水準にあり、引き続き、その水準が保たれる見通しである。消費者の行動変容や小売業界の再編、物流費の上昇などにより、取り巻く環境は厳しさを増しつつある。ただ、業界内での競争力は高く、今後もDgSを中心に主要顧客との取引深耕が見込まれる。また、生産性向上への取り組みが、利益率の維持、改善につながるとみられる。財務耐久力が向上している。投資方針は堅実であり、財務健全性が損なわれる懸念は小さい。以上を勘案し、格付を1ノッチ引き上げ、見通しは安定的とした。
- 22/3期は売上高8,360億円（前期実績に新収益認識基準を適用した増減率は前期比0.7%増）、経常利益130億円（同7.5%増）の予想。コロナ特需の反動を受けつつも、化粧品やペットカテゴリーの販売増などにより成長軌道を維持する見込み。23/3期以降も、業績は堅調に推移するとJCRではみている。当社は生活必需品を幅広く扱っており、需要動向の変化への対応力が高い。近年は化粧品を中心に重点商材の強化を進め、競争力をさらに高めている。コスト上昇に対しては、高単価商品の販売増、返品率の削減や物流業務の改革などに取り込んでおり、その効果が見込まれる。物流投資の状況を含め、引き続き成果をフォローしていく。
- 21年12月末の自己資本は954億円（20年12月末902億円）、自己資本比率は31.3%（同31.5%）と、財務基盤は健全である。都市圏を中心に物流体制の強化を図る方針であり、従前に比べ高水準の設備投資が予想される。ただ、安定したキャッシュフロー創出が見込まれ、かつ財務健全性に配慮した投資方針が示されており、良好な財務構成が維持されるとみられる。

（担当）大塚 浩芳・安部 将希

### ■格付対象

発行体：株式会社あらた

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

  

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
120%コールオプション条項付第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（転換社債型新株予約権付社債間限定同順位特約付）	60億円	2018年7月24日	2023年7月24日	利率を付さない	A-

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年4月11日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社あらた
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル